

株式会社ジェイコムイースト 秦野・伊勢原局 放送番組審議会 概要

平成 23 年度 第 1 回の放送番組審議会は 2012 年 2 月 2 日(木)に秦野で開催された。

＜放送番組審議会委員＞（五十音順）

ご出席

中 野 貴 之 様 番 場 勇 次 様 正 岡 義 海 様
目 黒 明 様

ご欠席

栗 原 政 男 様

委員の自己紹介と番組送出設備見学の後、事業者側から現況報告及び放送法改正、J:COM チャンネルの報告があった。

【質疑応答・意見交換】

（今後の展望について）

委員 ケーブルテレビの優位性が理解できた。加入が順調に推移していることやサービスが可能なエリアがわかった。今後のエリア拡張や加入の展望はどうなっているのか。

事業者 民間企業なので採算性との兼ね合いがある。光ケーブルを敷設するなどのエリア拡張の費用と加入による収入を比較して現在のエリアとなっている。今後は収益性をみて少しずつエリアを拡げていきたい。対象市内全域に認可をいただいているため、情報格差が生じないようにインフラ整備をすすめていく。

（市庁舎での放送について）

委員 地元密着の番組として三つのキーワード（生活圏、地域発、人が主役）はよいと思う。活字離れと言われているので、ビジュアルによって地域のセールスをしていきたい。市庁舎の待合室などでJ:COMチャンネルを放送できないか。それを録画してもよいか。

事業者 市庁舎での放送は、時間帯によってテレビショッピングが放送されるので（タイマー制御するなどの）工夫が必要である。権利をクリアすれば録画も可能であるが、人が多く集まる場所でそれを放送することは難しいと思われる。

（災害時の対応について）

委員 行政の立場として震災時の情報発信には反省すべき点があった。電話やメールがつながりにくかった。ラジオが見直されている。媒体は多ければ多いほどよいと思う。J:COMチャンネルの対応はどうなのか。

事業者 災害が発生した際、瞬時に情報を発信することは難しい。緊急地震速報の端末によって災害情報を発信できる。地域の情報をピンポイントで使っていただけるしくみがある。

(番組編成について)

委員 ぜひ地元のPRをしてもらいたいが、どこかのエリアに偏らないように放送するのは難しい面があるのではないかと思う。

事業者 合併によって拡張してきたこともあり様々なエリアに分かれている。特定のエリアに偏らないよう、全国放送枠、共通番組枠、ローカル枠などに細分化し、それらを組み合わせで24時間を編成している。ローカルを守りつつ、関東広域の番組も見せていきたい。地元をPRすることで商工業の活性化を図っていきたい。25年の歴史がある局もあるので偏らないようにするのは難しい問題であり、まだ試行錯誤している状況である。地域に密着していなければ、コミュニティチャンネルとは言えなくなってしまうことは確かである。

(近隣局について)

委員 厚木伊勢原ケーブルネットワークは J:COM と一緒にならないのか。

事業者 予定されていない。県のCATV協議会を通じて一部の番組交換などを行っている。

(HD放送について)

委員 J:COM チャンネルが増えるという話があったようだがどういうことか。

事業者 地上デジタル放送の 11CHは J:COM チャンネルになっているが、詳しく分けると 111CHに J:COM チャンネル、112CHと 113CHにショッピング系のチャンネルを割り当てている。10CHはそれとは別の編成で試験的にHD(ハイビジョン)放送を流している。既にハイビジョンで撮影している番組もあるが、番組送出設備がまだ整っていない。今年中に 11CHをハイビジョン化する予定である。

(他社との競合について)

委員 衛星放送のスカパーと競合しているのではないか。

事業者 多チャンネルの部分でどちらかを選択することになる。決定的な違いは地域情報番組である J:COM チャンネルの有無である。

(ターゲットの年齢層について)

委員 J:COM チャンネルは主婦層か高齢者向けの番組が多いようだが、ターゲットの年齢層はどのくらいと考えているのか。今の番組構成では志向性が限られているように思う。

事業者 20代、30代の視聴者は少なく、40代以上が多いようである。今後、スマートフォン、タブレット型PC、インターネットなど視聴方法に変化が生じることが想定されるが、「J:COM

Everywhere」を掲げており、どこでも視聴できるようにしていく構想がある。

(光ケーブルのルートについて)

委員 光ケーブルのルートはどのようになっているのか。

事業者 異なる二つのルートで秦野・伊勢原局の送出設備に入っている。これは法的要件として条件を満たしているものである。

以上